

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

本書をお読みにする前に	2
1. 必ずお読みください	11
添付品の確認	11
パソコンの疲れにくい使い方	11
使用上のお願い	11
設置について	11
接続について	13
電源を入れる	16
セットアップ	17
電源を切る	19
2. 必要に応じてお読みください	20
BIOS の設定をご購入時の状態に戻す	20
リカバリ概要	20
リカバリ操作	20
リサイクルについて	23
有寿命部品について	23
お問い合わせ先について	24

FMVマニュアルについて

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト「FMWORLD.NET」内にある、FMVマニュアルのページ (<http://www.fmwORLD.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>) に記載されています。

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複製して、保管しておいてください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております (<http://www.microsoft.com/japan/>)。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、雷害などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適合品です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品の構成部品（プリント基板、CD-ROMドライブ、ハードディスクなど）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。

エネルギー消費のお知らせ

■ 定格電流：最大 6.5A(アウトレット最大 3A を含む)

■ 電源 OFF 時の消費電力：5W 以下^注

（電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください）

■ 動作時の最大消費電力、通常消費電力

・ 最大消費電力：約 220W

・ 通常消費電力：約 70W

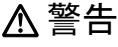
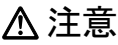
（ご使用になる機器構成により値は変動します）

注：ディスプレイの電源をアウトレットから供給しない場合の電力値です。




警告表示について

■警告表示

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。








安全上のご注意


本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱いください。

また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。



■電源・電圧・接続について

警告

-  ● 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご相談ください。
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
-  ● アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因となります。
-  ● 電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。
-  ● 添付もしくは指定された以外の電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
火災・感電の原因となります。
-  ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  ● ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。
-  ● ACアダプタの本体やケーブル、電源ケーブル、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

- 
 - 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- 
 - ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。
- 
 - 本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 
 - 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。
- 
 - 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。
- 
 - 本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。
万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 
 - 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。
- 
 - 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。
- 
 - 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。
- 
 - メモリの取り付けや取り外しを行うときなど、本体カバーをアける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。
落雷が起きた場合に感電の原因となります。

注意

- 
 - 指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。
火災・故障の原因となることがあります。
- 
 - 電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

■本体・周辺機器の取り扱いについて

⚠ 警告



- パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



- 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- 本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。



- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。



- 本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。



- 本パソコンの内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。

リチウム電池はご自身で交換せずに、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。



- 振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

⚠ 注意



- 本製品の上に重いものを置かないでください。

故障・けがの原因となります。



- 使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあげ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- 本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- フロッピーディスクや CD などのトレイやスロット、LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
けが・感電の原因となることがあります。
- 周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。
- パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

■レーザーの安全性について

□CD-ROM ドライブの注意

本製品に搭載されている CD-ROM ドライブは、レーザーを使用しています。

□クラス 1 レーザー製品

CD-ROM ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter J に準拠しています。

また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1：2001）、CENELEC 規格（EN 60825-1：1994 + A2：2001 + A1：2002）および、JIS 規格（JISC6802：1997）に準拠しています。

⚠ 警告



- 本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。
 - ・光源部を見ないでください。CD-ROM ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。
また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線を覗きこまないでください。
レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。
- お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

■その他

⚠ 警告



- 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- 本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



- パソコン本体や AC アダプタの温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。
低温やけどの原因になります。

⚠ 注意



- 本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- ・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、ひじの角度が90度以上になるように使用する。



- 本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- 本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



- ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- 電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

本書の表記

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本パソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極接地極付プラグ」です。接続先のコンセントには「平行2極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」または「平行2極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。

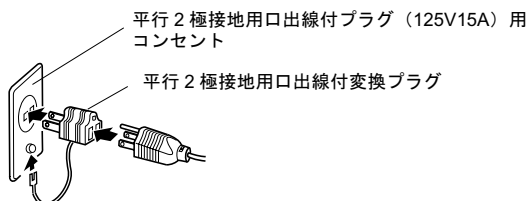
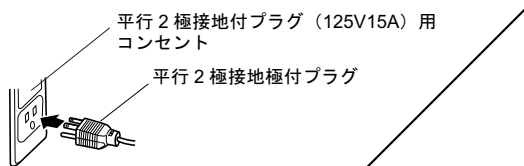
「平行2極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用の場合は、添付の「平行2極接地用口出線付変換プラグ（2P変換プラグ）」を取り付けてください。

2P変換プラグのアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

※「接地用口出し線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。



本文中では、次のように略して表記します。

名称	本文中の表記
平行2極接地極付プラグ	電源プラグ
平行2極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント	コンセント
平行2極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント	2ピンのコンセント
平行2極接地用口出線付変換プラグ	2P変換プラグ



■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
      ↑ ↑
```

- ・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。

また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

- ・CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD-ROM ドライブ]:¥setup.exe

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS 設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「-」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「Security」メニューの「Password on Boot」の項目を「Disabled」に設定します。

↓

「Security」 - 「Password on Boot」: Disabled

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■カスタムメイドオプションについて

本文中の説明は、すべて標準仕様に基づいて記載されています。

そのため、カスタムメイドで選択のオプションを取り付けている場合、メモリ容量などの記載が異なります。ご了承ください。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
FMV-J5210FA	本パソコン/パソコン本体	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows

■お問い合わせ先/URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2005 年 11 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→ P.24）。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

FMV マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティングおよびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト「FMWORLD.NET」内にある、FMV マニュアルのページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>) に記載されています。

商標および著作権について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2005

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

1. 必ずお読みください

添付品の確認

『添付品一覧』をご覧になり、添付品をご確認ください。
足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元にご連絡ください。

パソコンの疲れにくい使い方

パソコン作業を続けていると、目が疲れ、首や肩が痛くなり、腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は疲労に注意し、適切な環境で作業してください。

- ブラインドやカーテンで、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないようにする。
- 目は画面から40cm以上離し、画面の高さは水平より下になるようにする。
- 作業中は、1時間に10分～15分程度の休憩をとる。
- 肘かけや背もたれのついた椅子を使用し、座面の高さを調節する。
- パソコンの周りや足元には、十分なスペースを確保する。
パソコンをお使いになるときの姿勢や環境について、さらに詳しい説明がFMVマニュアルのページ(→P.10)の『ハードウェアガイド』-「ハードウェア」-「パソコンの疲れにくい使い方」に記載されています。あわせてご覧ください。

POINT

- ▶ 富士通では、独立行政法人産業医学総合研究所の研究に協力し、その成果が「パソコン利用のアクション・チェックポイント」としてまとめられています。
詳しくは、富士通ホームページ(<http://design.fujitsu.com/jp/universal/ergo/vdt/>)の解説をご覧ください。

使用上のお願い

- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- 本製品は昼夜連続動作(24時間動作)を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

落雷のおそれがあるときの注意

雷が鳴り出した時は、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源スイッチを切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LANケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本製品を保護できないことがありますので、ご了承ください。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

設置について

本パソコンの設置場所、設置方法を説明します。

使用および設置に適さない場所

本パソコンを設置する場合は、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足にひっかかる場所
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
- 車、飛行機、船など、輸送機器への設置
- 極端に高温または低温になる場所
- 腐食性ガス(温泉から出る硫黄ガスなど)が出る場所
- 結露する場所

POINT

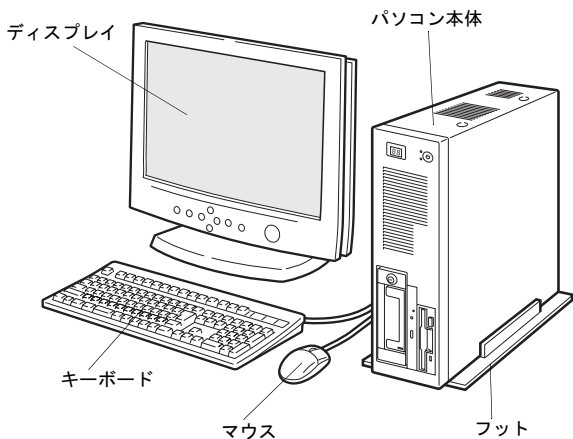
- ▶ 本製品の使用環境は温度5～35℃/湿度20～80%RH(動作時)、温度-10～60℃/湿度20～80%RH(非動作時)です。
- ▶ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所(クーラーの効いた場所、寒い屋外など)から、温度の高い場所(暖かい室内、炎天下の屋外など)へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ▶ 本製品のそばで喫煙すると、タバコのヤニや煙がパソコンの内部に入り、CPUファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。

設置例

本パソコンは次のように設置してください。

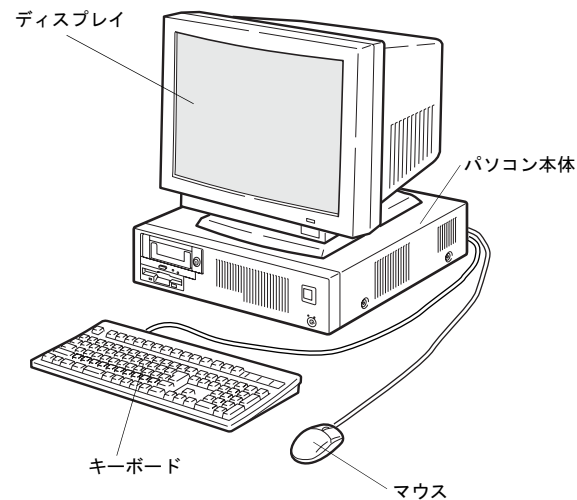
パソコン本体は次の図のように縦置き、または横置きにすることができます。設置の際は、パソコン本体背面や上面、側面にある通風孔をふさがないように注意してください。特に横置きする場合は、パソコン本体に載せるディスプレイが、パソコン本体の通風孔をふさがないように注意してください。

■縦置き



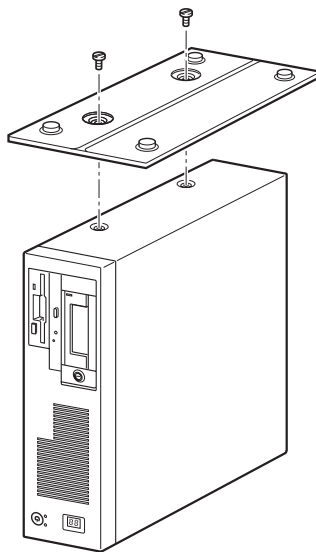
■横置き

19kg 以下のディスプレイのみパソコン本体の上に載せることができます。



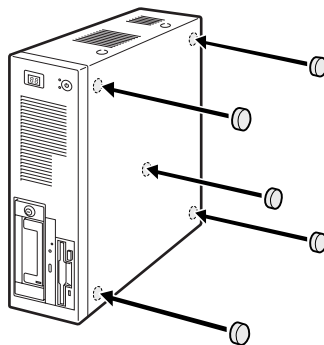
縦置きに設置する

- 1 パソコン本体のネジを外し、外したネジの位置にフットを取り付けます。
外したネジを使用して、フットを固定します。



横置きに設置する

- 1 パソコン本体側面の4隅と中央に添付のゴム足(5個)を取り付けて設置します。



POINT

- ▶ ゴム足を取り付ける場合、縦置きするときのフットに接触しない位置に取り付けてください。また、パソコン本体のゴム足を取り付ける部分は、ほこりなどを拭き取ってください。
- ▶ ゴム足を取り付けた後にパソコン本体を移動する場合、ゴム足をひきずらないでください。

これ以降の記述については、縦置きを前提としています。横置きにする場合は、読み替えてください。

接続について

パソコン本体に、ディスプレイ、キーボード、電源ケーブルなどを接続します。

⚠ 警告



- ディスプレイ、キーボード、マウス、電源ケーブルの取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。



- ケーブルの接続は、間違いがないようにしてください。

誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。

⚠ 注意



- 本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- アウトレットはディスプレイの電源供給専用です。それ以外の用途には使用しないでください。

火災・故障の原因となることがあります。

電源ケーブルについて

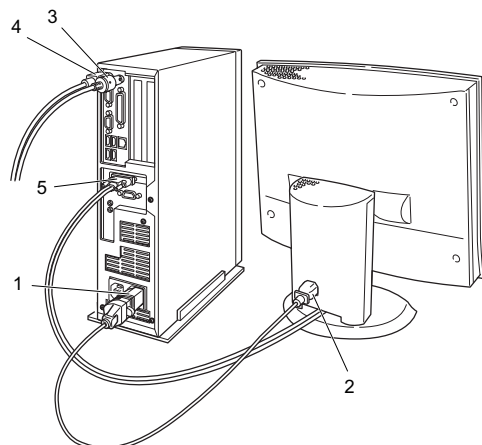
本パソコンに添付の電源ケーブルは AC100V 専用です。AC125V を超える電源線にはつながないでください。AC200V でお使いになる場合は 200V に対応したケーブルをご用意ください。

アウトレットについて

アウトレットには入力電圧と同じ電圧が出力されます。AC200V 使用時はアウトレットにも同じ電圧が出力されるので、接続機器（ディスプレイ）にご注意ください。

AC100V 専用の機器を接続すると発煙、発火、機器の故障につながります。

ディスプレイ／キーボード／マウスを接続する



1 電源ケーブルをアウトレットに接続します。

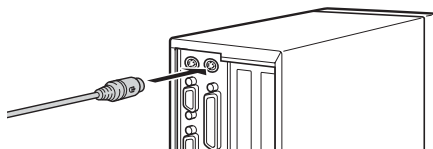
ディスプレイの電源ケーブルの片方のプラグに添付のコンセント変換コネクタを取り付けてから、アウトレットに接続してください。通常、アウトレットの形状はディスプレイの電源ケーブルのプラグに合いません。

2 電源ケーブルをディスプレイに接続します。

電源ケーブル（ディスプレイ用）の片方のプラグを、ディスプレイ背面のインレットに接続します。

3 マウスを接続します。

マウスケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、マウスコネクタの色とパソコン本体背面のマウスラベルの色が合うように接続します。

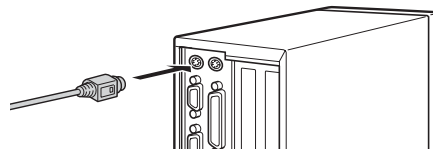


POINT

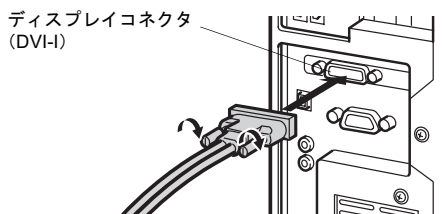
- ▶ USB マウス（光学式）をお使いになる場合は、パソコン本体背面の USB コネクタに接続します。このとき、コネクタの形を互いに合わせ、まっすぐに差し込んでください。

4 キーボードを接続します。

キーボードケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、キーボードコネクタの色とパソコン本体背面のキーボードラベルの色が合うように接続します。



- 5 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。ケーブルのコネクタを、パソコン本体背面のディスプレイコネクタに接続して、ケーブルのコネクタのネジを締めます。



POINT

- ▶ デュアルリンク対応モニターは使用できませんので、接続しないでください。
- ▶ アナログ RGB 規格のディスプレイケーブルを接続する場合は、添付のマルチモニターケーブルを接続してください。

1台のディスプレイを接続する場合は、マルチモニターケーブルの D-SUB コネクタ「VGA1」に、ディスプレイケーブルを接続してください。

複数台のディスプレイを接続する場合は、必ず Windows のセットアップを行ってから、2台目のディスプレイを接続してください。セットアップ完了後、一度電源を切ってから2台目のディスプレイを接続してください。

マルチモニターケーブルの D-SUB コネクタ「VGA2」に、ディスプレイケーブルを接続します。

「VGA1」コネクタに接続されたディスプレイがプライマリディスプレイ、「VGA2」コネクタに接続されたディスプレイがセカンダリディスプレイとなります。

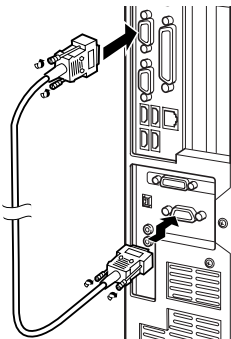
- ▶ マルチディスプレイで使用する場合以外は、「VGA2」コネクタへディスプレイケーブルを接続しないでください。

本パソコンが正常に動作しません。

- ▶ マルチディスプレイで使用する場合、デジタルディスプレイは使用できません。

シャットダウンユーティリティケーブルの接続

- 1 シャットダウンユーティリティをご使用の場合は、シャットダウンユーティリティ用ケーブルを接続します。ケーブルを COMRAS コネクタとシリアルコネクタ 1 (RS232C) に接続し、ケーブルのコネクタのネジをしめめます。



電源ケーブルを接続する

警告

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- 電源ケーブル、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
- AC アダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは、壁のコンセント (AC100V) に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

- 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電、火災の原因となります。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。安全のため、電源プラグにはアース線がついています。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご相談ください。

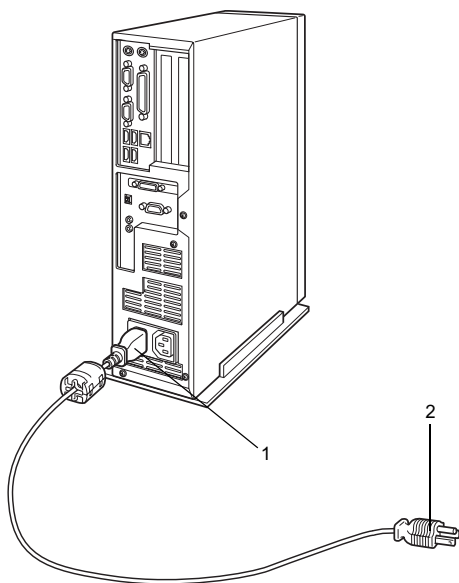
⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

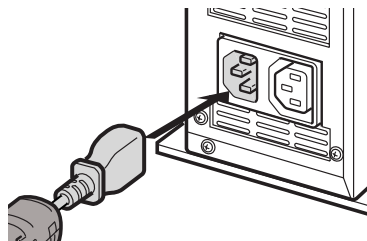
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。火災・故障の原因となることがあります。

- 本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

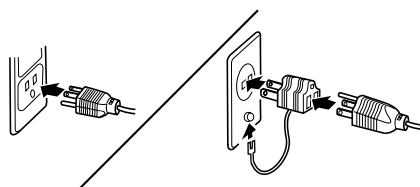


- 1 電源ケーブルに添付のコアを取り付けます。
- 2 電源ケーブルのプラグをパソコン本体背面のインレットに接続します。



- 3 電源ケーブルの電源プラグをコンセント（AC100V）に接続します。

電源プラグをコンセントに接続してください。2ピンのコンセントの場合は、添付の2P変換プラグに付いているアース線を、アース端子のネジにネジ止めします。その後、電源プラグを取り付けた2P変換プラグをコンセントに接続してください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



電源を入れる

注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどを行わないでください。
- 電源ランプは、電源を入れると緑色に点灯します。スタンバイ状態になるとオレンジ色に点灯します。
- パソコン本体の電源を入れる前に、必ずディスプレイが接続されていることを確認してください。ディスプレイを接続しないでパソコン本体の電源を入れると、ディスプレイが認識されず、カーソル、画面が正常に表示されない場合があります。この場合、アナログディスプレイをお使いの方は、アナログディスプレイを接続して Windows を終了させてから電源を切り、その後電源を入れ直してください。
- デジタルディスプレイを直接コンセントに接続してお使いになる場合、パソコン本体の電源を入れる前に、必ずデジタルディスプレイの電源が入っていることを確認してください。パソコン本体の電源を入れた後にデジタルディスプレイの電源を入れた場合、画面は表示されません。この場合、パソコン本体の電源を切り、その後電源を入れ直してください。
- ディスプレイの電源ケーブルを本パソコンに接続している場合、ディスプレイの電源は本パソコンの電源と連動して入ります。そのため、ディスプレイの電源ボタンは一度押しておけば、以後操作する必要はありません。次回からはパソコン本体の電源ボタンを押すだけで電源が入ります。
- 画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整してください。
- 電源を入れた後すぐに電源を切る場合は、Windows が起動してから「電源を切る」(→ P.19) に従って電源を切ってください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。
- 画面表示の開始や表示モードが切り替わる時、一時的に画面が乱れたり、横線が見えることがあります (Windows の起動・終了画面、省電力モードからの復帰時など)。故障ではありませんので、そのままお使いください。
- 電源を入れた後、ディスプレイに「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、本パソコンは、パソコン内部をチェックする「自己診断 (POST : Power On Self Test)」を行います。自己診断 (POST) 中は電源を切らないでください。自己診断 (POST) の結果、異常があればエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージについては FMV マニュアルのページ (→ P.10) の『ハードウェアガイド』-「BIOS」をご覧ください。
- システム起動時 (開封契約時を含む) やシステム終了時、または AntiVirus のウィンドウが表示される瞬間に、一瞬

帯状に画面が乱れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

- 周辺機器の取り付けなどのとき、アッパーカバーを取り外したまま電源を入れないでください。
- 画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
 - ・ディスプレイの電源は入っていますか。
 - ・省電力モードが設定されていませんか。マウスを動かすか、どれかキーボードのキーを押してください。パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯している場合、ACPI モードの S3 に移行している可能性があります。電源ボタンを押してください。電源ボタンを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源ボタンを 4 秒以上押し続け、電源を一度切ってください。
 - ・ディスプレイのケーブルは、正しく接続されていますか (→ P.13)。
 - ・ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットに接続されていますか (→ P.13)。
 - ・ディスプレイのブライトネス/コントラストボリュームは、正しく調節されていますか。ブライトネス/コントラストボリュームで画面を調節してください。

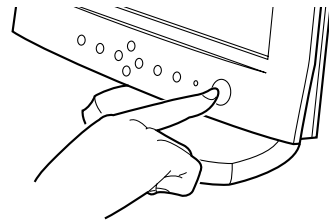
電源の入れ方

⚠ 注意

- ⊘ ● 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- ⊘ ● 冬季など本製品が冷えているときは、温度を急激に上げないようにして本製品が十分暖まってから電源を入れてください。本製品内部に水滴がつき、故障の原因となることがあります。

1 ディスプレイの電源ボタンを押します。

この時点では、画面に何も表示されません。

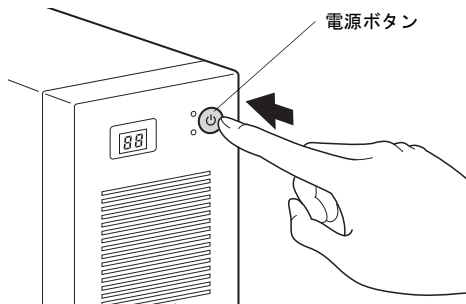


2 パソコン本体の電源ボタンを押します。

ディスプレイとパソコン本体の電源ランプが緑色に点灯します。

電源が入ると、ディスプレイに「FUJITSU」ロゴが表示され、その後システムが起動します。

ご購入後、初めて電源を入ると、Windows のセットアップ画面が表示されます。その場合は、「セットアップ」(→ P.17) をご覧になり、操作を続けてください。



セットアップ

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定 (Windows セットアップ) について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

留意事項

- Windows セットアップを行う前は、次の点にご注意ください。
 - ・ 周辺機器 (カスタムメイドオプションを除く) を取り付けないでください。
 - ・ LAN ケーブルを接続しないでください。
 - ・ オプションカードをセットしないでください。
 - ・ BIOS をご購入時の設定から変更しないでください。Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。上記の項目は、セットアップを行い、「必ず実行してください」を実行してから、行うようにしてください。
- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行われなかった場合があります。ウィンドウが完全に表示されたら、キーまたはマウスで操作してください。
- セットアップ中は、不用意に電源を切らないでください。
- Windows セットアップが進められなくなったときは、「セットアップで困ったときは」(→ P.19) をご覧ください。

Windows XP セットアップ

- 1 本パソコンの電源を入れます (→ P.16)。しばらくすると、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。
- 2 「次へ」をクリックします。「使用許諾契約」が表示されます。「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。
- 3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。「コンピュータを保護してください」と表示されます。

POINT

▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

- 4 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックし、「次へ」をクリックします。「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。
- 5 「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をクリックします。「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

POINT

▶ 「コンピュータの説明」は省略できます。また、コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することもできます。

- 6 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。「このコンピュータをドメインに参加させますか?」と表示されます。

POINT

- ▶ パスワードでは大文字/小文字が区別されます。
- ▶ 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか?」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。
- ▶ 「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 10 へ進んでください。

- 7 「いいえ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。「インターネット接続を確認しています」と表示されます。しばらくすると、「インターネットに接続する方法を指定してください。」と表示されます。

POINT

- ▶ 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」と表示された場合は、手順9へ進んでください。

8 「省略」をクリックします。

「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されます。

9 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「設定が完了しました」と表示されます。

10 「完了」をクリックします。

本パソコンの再起動後、パスワードの入力画面が表示されます。

11 手順6で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

POINT

- ▶ 画面下の通知領域に警告が表示されたら、「必ず実行してください」を実行後、ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策を最新の状態にしてください。

12 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

13 「実行する」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

14 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

重要

- ▶ 「復元ポイントの作成」を行う場合は、「必ず実行してください」を実行後、再起動してから行ってください。

これで、Windows セットアップが完了しました。

この後は、「セットアップ後」(→P.18) をご覧になり、必要な操作を行ってください。

セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

●セキュリティ対策

ウイルス対策や不正アクセスに関する対策など、お使いのパソコンについてのセキュリティ対策は、システム管理者の指示に従い、お客様自身が責任をもって行ってください。初めてインターネットに接続する際は、LANなどに接続してインターネットを始める前に、次のセキュリティ対策を行ってください。

1. ネットワーク管理者に確認し、LANなどの設定を行います。
2. 「Windows Update」を実行し、Windowsをより安全な状態に更新します。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」をクリックし、必要な更新をインストールします。
3. Office製品をお使いの場合は、マイクロソフト社のホームページから「Officeのアップデート」を実行し、より安全な状態に更新します。
4. ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にします。ウイルス対策ソフト「AntiVirus」については、FMVマニュアルのページ(→P.10)の『ソフトウェアガイド』-「トラブルシューティング」-「トラブルに備えて」-「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。

実行にあたっては、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

なお、FMVマニュアルのページ(→P.10)をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LANなどの設定を行ってください。

また、必要に応じて、次の操作を行ってください。

- 必要に応じて、ソフトウェアの追加や削除を行うことができます。ソフトウェアについては、FMVマニュアルのページ(→P.10)の『ソフトウェアガイド』-「ソフトウェア」-「ソフトウェア一覧」をご覧ください。その他の設定についてはFMVマニュアルのページ(→P.10)の『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

□電源を入れても画面が表示されない

●電源を切り、ディスプレイなどの接続を確認してください。

□Windows セットアップが進められなくなった

●「電源を切る」(→ P.19) をご覧になり、本パソコンの電源を一度切った後でセットアップをやり直してください。

●途中で電源を切ると、次に電源を入れたときに再起動を繰り返したり、「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが常時され、Windows が起動しなくなる場合があります。

この場合は、「FUJITSU」ロゴが表示されているときか、またはメッセージが表示されているときに、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、リカバリ操作を行ってください。

□電源を入れた後、画面が中央に表示されない、画面が見にくい

●設定機能があるディスプレイをお使いの場合は、ディスプレイのマニュアルをご覧になり調整してください。

□起動時などの音がうるさい

●Windows セットアップ時に音が鳴ります。スピーカーを接続している場合は、ボリュームを調整してください。

□「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示される

●お使いのモニタに合わせたドライバをインストールしてください。

電源を切る

注意事項

●電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。

●電源を切る前に、ディスクアクセスランプやフロッピーディスクアクセスランプ(→ FMV マニュアルのページ(→ P.10)の『ハードウェアガイド』)が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。

●自己診断(POST)時に電源を切らないでください。Windows が完全に起動してから、「電源の切り方」(→ P.19)に従って電源を切ってください。

●「電源の切り方」の手順(→ P.19)で電源が切れない場合や再起動できない場合、4秒以上電源ボタンを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスクを破壊するおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。

●電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、10秒以上時間をあけてください。

電源の切り方

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にクリックします。

Windows が終了し、本パソコンの電源が切れます。



POINT

▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。

1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

2. Windows を終了します。

次に表示されるウィンドウにより、手順が異なります。

- 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示された場合

「シャットダウン」メニュー→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。

Windows が終了します。

- 「Windows のセキュリティ」ウィンドウが表示された場合

1. 「シャットダウン」をクリックします。

「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。

2. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

Windows が終了します。

それでも電源が切れない場合は、電源ボタンを4秒以上押ししてください。

▶ 上記の画面で「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。ソフトウェアをインストールした場合や、使用中のソフトウェアがなんらかの理由で動かなくなった場合などに、再起動を行います。再起動すると、メモリ内のデータが消失します。再起動する前に、必要なデータは保存してください。

2. 必要に応じてお読みください

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態（標準設定値）に戻す方法について説明します。

本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に【F2】キーを押すと、BIOS セットアップが起動します。BIOS の設定値をご購入時の設定に戻すには、「Exit」メニューの「Load Setup Defaults」を実行した後、設定を保存して BIOS セットアップを終了してください。

POINT

- ▶ BIOS の設定を変更している場合は、ご購入時の状態に戻す前に、変更内容をメモしておくことをお勧めします。
- ▶ ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「FUJITSU」ロゴや Windows の起動時のロゴの表示が確認できない場合があります。
その場合は、BIOS セットアップを起動する際、本パソコンの再起動後に【F2】キーを数回押してください。

リカバリ概要

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、ハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要と手順

■概要

リカバリとは、「リカバリディスク」を使用して、Windows、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（Windows セットアップを行う前の状態）に戻す操作です。

「リカバリディスク」では、次の方法でリカバリを実行できます。

- Cドライブのみご購入時の状態に戻す（推奨）
ハードディスクの領域は現在お使いの状態のまま、Cドライブのみご購入時の状態に戻します。Dドライブ以降は、変更されません。
この方法でリカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- 領域を設定した後、Cドライブをご購入時の状態に戻す
ハードディスクの領域を設定した後、Cドライブの内容をご購入時の状態に戻します。Dドライブはフォーマットされます。
この方法でリカバリを行うと、ハードディスク内のデータ

はすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

領域の設定には、次の方法があります。

- ・領域を任意に設定して戻す
領域を任意に設定した後、Cドライブの内容をご購入時の状態に戻し、Dドライブをフォーマットします。
領域は、100MB単位で2区画まで作成できます。
- ・領域をご購入時の設定にして戻す
ハードディスクの領域とCドライブの内容をご購入時の状態に戻し、Dドライブをフォーマットします。

■手順

リカバリは次の手順で行います。

- 1 リカバリ前の準備（→P.20）
- 2 リカバリ方法（→P.21）
- 3 リカバリ終了後（→P.22）

留意事項

- リカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて失われます。また、「領域を設定した後、Cドライブをご購入時の状態に戻す」を選択した場合は、Dドライブ以降のデータもすべて失われます。必要に応じて事前にバックアップしておいてください。
- 「Cドライブのみご購入時の状態に戻す（推奨）」を選択した場合は、Cドライブ以外のドライブは変更されません。
- 周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LANケーブルを接続しないでください。LANケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕を持って、操作を実行してください。
- Windows 起動中に「リカバリディスク」をセットすると、「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されます。「キャンセル」をクリックしてください。

リカバリ操作

本パソコンのCドライブをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

POINT

- ▶ リカバリに関する留意事項（→P.20）をよくお読みの上、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

■BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します (→ P.20)。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

リカバリ方法

次のものを用意してください。

●「リカバリディスク 1、2、3、4」

- 1 本パソコンを起動します。
- 2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。
メニューが表示されます。
【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

POINT

- ▶ ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「FUJITSU」ロゴや Windows の起動時のロゴの表示が確認できない場合があります。
その場合は、キーボードのインジケータが一瞬点灯した後、【F12】キーを数回押してください。
- ▶ メニューが表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動し、もう一度操作してください。

- 3 「リカバリディスク 1」をセットします。
- 4 「CDROM」を選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリメニュー」画面が表示されます。
- 5 「リカバリ」を選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリディスク」画面が表示されます。
- 6 【Page Up】【Page Down】キーで説明をスクロールし、内容を確認して、【Y】キーを押します。
- 7 リカバリ方法により、次のどちらかの操作を行います。
 - 「C ドライブのみご購入時の状態に戻す (推奨)」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認の画面が表示されます。手順 9 に進んでください。

重要

- ▶ C ドライブのデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

- 「領域を設定した後、C ドライブをご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
次のメニューが表示されます。次の手順に進んでください。

重要

- ▶ ハードディスク内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

8 領域の設定方法により、次のどちらかの操作を行います。

- 「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
C ドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、2 区画までの領域を設定できます。
ハードディスク全体を C ドライブとして設定したい場合は、【P】キーを押します。
領域を設定したら、【Enter】キーを押します。
- 「領域をご購入時の設定に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

重要

- ▶ 現在の領域設定を変更しない場合や、ご購入時から領域の設定を変更していない場合も、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

- 9 【Y】キーを押します。
しばらくすると「復元しています...」というメッセージが表示され、ファイルのコピーが始まります。
「n 枚目のメディアをドライブ Z: に入れてください。」と表示されたら、「リカバリディスク n」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。「リカバリディスク」は、画面に表示されたものを、セットしてください。リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
- 10 CD-ROM を取り出してから、本パソコンの電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ります。
- 11 以降、「リカバリ終了後」(→ P.22) を参照して操作を行ってください。

リカバリ終了後

本パソコンの電源を切った後、次の操作を行ってください。

- 1** 周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します。
- 2** 本パソコンの電源を入れます。
- 3** 以降、「セットアップ」(→ P.17) を参照して Windows のセットアップを行ってください。

以上でリカバリ操作は終了です。

お客様が実行したセキュリティ対策や各種設定内容は、実行前の状態に戻っています。セットアップ後、Windows Update などのセキュリティ対策を行ってください。また、必要に応じて、アプリケーションのインストールや設定などを行ってください。詳しくは、「セットアップ後」(→ P.18)をご覧ください。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人・企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>）をご覧ください。

●個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。

詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ（<http://azby.fmworld.net/recycle/>）をご覧ください。

有寿命部品について

●本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります（交換には別途費用が必要となります）。

●有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、平均使用温度 25℃、空調のある常温で使用した場合、寿命の短い部品で 1 日 8 時間のご使用で約 5 年、長時間連続使用した場合で約 3 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

●本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

●摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。

●本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。省電力機能については、FMV マニュアルのページ（→ P.10）の『ソフトウェアガイド』の「機能」－「省電力」をご覧ください。
また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

●長時間連続使用される場合は、ミラーディスクのご使用をお勧めします。

主な有寿命部品一覧（外付けオプション除く）

ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ、メインボード、キーボード、マウス、電源ユニット、ファン

長時間連続使用時の主要部品の寿命の目安 （使用環境条件により変動します）

ハードディスクドライブ：約 3 年、メインボード：約 3 年、電源ユニット：約 5 年、ファン：約 5 年

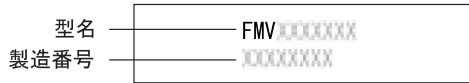
お問い合わせ先について

あらかじめ次の項目について確認してください。

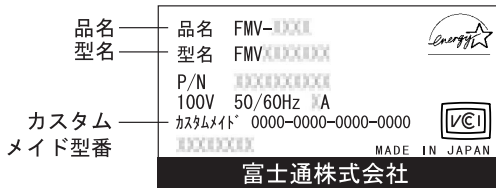
□品名／型名／カスタムメイド型番の確認

パソコン本体のラベルに記載されています。

●正面に貼付



●側面に貼付



(イラストは状況により異なります)

□修理を依頼する場合

●本パソコンの施錠

パソコン本体を施錠している場合は、修理を依頼される前にあらかじめ解錠してください。

重要

- ▶ 本体添付の鍵を紛失した場合は、引取修理による鍵の交換が必要となる場合があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず、紛失による鍵の交換は有償となります。
- ▶ 本体添付の鍵を紛失した場合は、訪問修理の際も即日修理ができない場合があります。その際は、引取修理になりますので、あらかじめご了承ください。

●「リカバリディスク」の用意

必ず「リカバリディスク」を添付してください。

■お問い合わせ先

次の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
故障かなと思われたとき	FMVマニュアルのページ(→P.10)の『ソフトウェアガイド』の「トラブルシューティング」をご覧ください。 それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、「富士通ハードウェア修理相談センター」までお問い合わせください。 <お問い合わせ先> フリーダイヤル：0120-422-297 受付時間：9：00～17：00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く） 部品送付による修理の場合、良品部品をお届け後、窓口よりお届けの確認と不良部品の引取日程などについてご連絡いたします。あらかじめご了承ください。
添付のソフトウェアのお問い合わせ	FMVマニュアルのページ(→P.10)の『ソフトウェアガイド』の「トラブルシューティング」－「お問い合わせ先」をご覧ください。
技術的なご質問・ご相談	FMVマニュアルのページ(→P.10)の『ソフトウェアガイド』をご覧ください。それでも不明な点がございましたら「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお問い合わせください。 <お問い合わせ先> フリーダイヤル：0120-950-222 受付時間：9：00～17：00（土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）
富士通サプライ品のご購入	富士通サプライ品のご購入については、「富士通コワーコ株式会社」の「お客様総合センター」までお問い合わせください。 <お問い合わせ先> フリーダイヤル：0120-505-279 受付時間：9：00～17：30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く） URL：http://jp.fujitsu.com/coworco/

・電話番号は、おかけ間違いのないよう、ご注意ください。

・「富士通ハードウェア修理相談センター」、および「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」は、ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

■有償サービス「SupportDesk」のご案内

システムの導入支援からのソフトウェアのQ&A、万一のハードウェアトラブル時の修理など、お客様のパソコンに関するビジネスライフをトータルにサポートするサービスをご用意しております。詳しくは、富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。

URL：http://segroup.fujitsu.com/fs/products/pc/

FMV-J5210FA

取扱説明書
B6FH-7101-01-00

発行日 2005年11月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の
審査基準（2005年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト <http://www.pc3r.jp>
をご覧ください。